

小田川っ子



平成27年度
白河市立小田川小学校
平成28年3月4日(金)
第43号(90号)
発行者 校長 小檜山 健

第38回「ひな祭り餅つき会」

「たのしい学校」

27日は、「ひな祭り餅つき会」でした。PTA役員の皆様方には、前日よりご準備いただきありがとうございました。前日の米ときぎ作業には5・6年生の子どもたちも参加し、冬の季節の水の冷たさを実感していたようです。また、餅つきでは、4つの学年ブロックに分かれ、声を掛け合いながら重い杵を振り下ろし、2回に渡り餅をつき上げることができました。今年のメニューは「お雑煮・あんこ餅・きな粉餅」でした。一番人気は雑煮で、「自分でついた餅は美味しいね」と、笑顔で何度もお代わりをする姿がありました。

2月29日付
「福島民友」に
掲載されました

白河市の小田川小で27日、第38回ひな祭り餅つき会が開かれ、児童らがきねと臼を使った昔ながらの餅つきを体験するとともに、桃の節句を祝い合った。保護者との触れ合いを楽しみながら季節の風物詩を体験してもらい、日本古来の風俗に親しんでもらおうと、同校や同校PTA、市青少年健全育成市民会議小

昔ながらの餅つき

小田川小「桃の節句」祝い



元気いっぱいいきねを振り上げ、餅をついた児童ら

田川小区推進協議会が開いた。同小の1〜6年生77人と保護者が参加、小田川幼稚園児28人が招かれた。蒸したもち米約50kgが用意され、小学生は3グループに分かれ、保護者の協力を得ながらきねと臼を使って餅をつき上げた。園児たちは掛け声を掛け合いながら、千本きねで餅つきを体験した。つき上がった餅は雑煮やあんこ、きな粉餅に調理され、子どもたちは自分たちでついた餅を味わった。会場には、ひな人形も飾られ、一足早くひな祭り気分も満喫した。



共催の青少年健全育成小田川小区会長様、ご寄付をいただきました根田醤油様、東白商事様に心より感謝申し上げます。また、「すべては子どもたちのために」を合言葉に活動くださっているPTAの皆様方のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

「大きな夢」…今、できること

6年生の「大きな夢」を紹介します

氏名	大きな夢	夢に向かって、今、できること
	ペットショップの店員	自分のペットの世話をきちんとやる
	陸上選手	家でたくさん走り、体力をつける
	金持ち	頭をよくして、給料のいい会社に入る
	警察官	勉強や運動をがんばる
	ゲームのプログラマー	ゲームのことを知る
	サッカー選手	休み時間、昼休みに外でサッカーをやる
	プロ野球選手	努力をする
	プロ野球選手	毎日素振り100回
	舟で日本一周	お金をためる
	調理師	家で料理の手伝いをする
	サッカー選手	できる日は練習をする
	和食の料理人	家で料理をする
	警察官	勉強や運動をいっしょうけんめい行う
	日本一周旅行	改めて日本のことを勉強する

